

まちの話題

歯を健康にして
人生を楽しく！

実年・熟年・青年

歯のコンクール

9月3日、第21回光市実年・熟年・青年歯のコンクールと表彰式が、あいびく光で開催されました。このコンクールは、光市歯科医師会の主催により毎年行われているもので、実年（50～64歳）・熟年（65～79歳）の健康優良と健康管理、青年8020（80歳以上で自分の歯を20本以上持っている人）の各部門で、歯の状態や歯並びなどの総合評価で審査。その結果、次の皆さんが受賞されました。（敬称略）

【寿年8020】
市長賞：笹尾文子（浅江） 議長
賞：村谷長（浅江） 歯科医師会長
賞：中村ミキコ（室積） 8020

達成者賞：岡田文子、中村ミキコ（室積） 笹尾文子、野坂方志、村谷長（浅江）

【熟年健康優良】

市長賞：新谷完次（浅江） 議長

賞：中武壽美恵（大和） 歯科医師会長賞：数井瑞生（島田）

【熟年健康管理】

市長賞：松河三郎（大和） 議長

賞：弘津三省（室積） 歯科医師会長賞：井上攀五（光井）

【実年健康優良】

市長賞：国山尚子（島田） 議長

賞：松村治人（浅江） 歯科医師会長賞：生長正男（室積）

【実年健康管理】

市長賞：守田洋子（大和） 議長

賞：野見山静代（浅江） 歯科医師会長賞：塚本優子（光井）



ふるさとの歴史や文化を 感じてみませんか

光ふるさと郷土館

入館者10万人を達成

8月17日、光ふるさと郷土館の入館者が10万人を突破しました。10万人目となった塩川博さん（大阪府和泉市から帰省中）には、館長から入館券や花束、記念品を贈りました。

郷土館は、かつて繁栄した港町室積の商家の建物などを生かし、ふるさとの歴史や文化財の収集・展示、さらには、市の観光資源などの紹介や新しい地域文化の発表の場としての機能も備えています。今回の10万人達成と新市誕生1周年を記念して、10月2日から10日まで、入館料が無料となりますので、ぜひご来館ください。



自然にやさしい農地保全

山口型放牧の実施

畜産農家から牛を借り入れ、耕作放棄地へ放牧する「山口型放牧」が、9月1日、周防下小周防の守末さん所有の水田約43アールで始まりました。

これは、畜産農家の低コスト化や耕作放棄地の解消、景観保全を目的としたもので、現在、県内では約160か所で実施。山口県では、1989年に全国に先駆けて始めたことから、「山口型放牧」と名づけ、積極的な取り組みを行っています。

放牧された2頭の牛は、これからの背丈ほどに伸びた水田の草を食べていき、順調にいけば、約1か月後に、美しい耕作地がよみがえることとなります。



親子で美しい自然を守る

地域活動連絡協議会による

「虹ヶ浜海岸清掃」

8月23日、光市地域活動（母親クラブ）連絡協議会の皆さんが、虹ヶ浜海岸の清掃を行いました。

この活動は、美しい自然を親子で再確認し、地元の自然環境を守り、育てようと、平成5年から毎年行われているものです。

今年は、三島母親クラブ、わかば母親クラブ、にこにこ母親クラブ、きらめきあじさいネットワークの4クラブ、約140人の親子が参加。親子が力をあわせて、夏に多くの海水浴客で賑わった海岸をきれいにしていきました。



異文化での 貴重な体験を報告

海外派遣事業帰国報告会

8月30日、教育委員会ホールで「海外派遣事業帰国報告会」を開催しました。

今年、中学生11人と同行教員1人が、7月21日から8月11日までカナダのコックウイットラム市へ、また、高校生5人が、7月23日から8月14日までオーストラリアのシドニー郊外へ海外語学研修に参加。派遣者一人ひとりが、異文化での貴重な体験談や滞在中の楽しい思い出などを報告してくれました。また、多くの人が、「最初は不安だったけど、最後はホストファミリーと涙の別れをした」と述べ、異文化で培った体験が大切なおみやげとなったようです。



長寿を祝う なごやかな雰囲気にもまれ

長寿者へ祝品の贈呈

敬老の日在先がけ、9月1日、末岡市長と加藤社会福祉協議会長が市内の長寿者を訪れ、祝品を贈呈しました。

今年、市内最高齢104歳の弘中イトさんをはじめ、小澤マサ代さん（102歳）、兼森ナツコさん（102歳）、出島益子さん（101歳）の4人を訪問。それぞれ長寿を祝うなごやかな雰囲気にもまれ、短い時間でしたが、皆さんと楽しいおしゃべりを交わしました。

市内には、年内に100歳以上になる方が17人おられます。皆さん、いつまでもお元気で、もっともっと長生きしてくださいね。



災害から 自分たちの地域を守る

光井地区自主防災会
設立記念大会

「防災の日」の9月1日、光井地区自主防災会の設立記念大会が、光井公民館で開催されました。

同会は、市内で9番目の組織化となりますが、光井地区の34自治会が集まるなど地区全域での取り組みは初めてとなります。

記念講演では、中村消防長が自主防災の必要性や災害時の防災システムについて説明。「自助、共助、公助の力が連携すれば防災力が高まる。」と話しました。

市民の皆さんの取り組みにより、安全・安心のまちづくりが、一歩一歩、着実に前進しています。